

結城凡鳥 ゆいきう 漢詩人。嘉永六年八月十一日上佐國高岡郡佐川村生

れ、明治十四年二月二十一日歿（一八三二—一八二一）。舊姓山田、諱贊、字子

猷、幼名寛衛、通稱琢磨。別號順友居士、鳳生、凡鳥子、凡鳥道人。

藩醫致道館に入り、明治二年得業生となる。上京して英學を學ぶ。八

年陸軍軍吏試補となり渡支、北京滞在中支那語を修めた。十年軍吏補

に進み、征討別働隊陣營譯長として西南役に出征。翌年病を獲て退官。

別冊豫（詩又き能く）、宮崎夢柳と雑誌『撃攘叢誌』を發刊した。

著書 『橋北十七名花譜』附録『胭脂漢宋誌』（凡鳥道人名、明治十一年

六月五日吉川利貞刊）、『花月』、『花月美人の魂』（同）、胡蝶生補述、明治二

十二年四月二十一日共隆社）等。